

組織現勢 (3月1日現在)

組合員数	19,956人
出資口数	91,452口
2月の新規加入	46人
2月の増資口数	149口

No. 380 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円



平和が一番です

東馬込にお住まいの組合員、高島フミさん。ご自宅の玄関先に「憲法九条 世界の宝」と書かれた憲法風車が設置されています。道行く人からすぐ目に入ります。全国で「九条の会」が結成された頃、今は亡き夫・進さんが、「日本が戦争をしない

平和への願いを込めて
 「憲法九条 世界の宝」

でこれらしたのは、憲法九条のおかげ」と言って、品川区の町工場の方に依頼してつくってもらい設置したものです。目立つので、通る人から人が「いいアイデアですね」と声をかけてくれたり、「噂を聞いてわざわざ訪ねて見に来てくれた方もいました。九条署名もやってくれる人が多いです。魔除けみたいになっていて、変なセールの人も全然来ませんよ」と高島さんは快活に語ります。夫が残してくれたものとして、これからも平和を願いながら、高島さんはこの風車を大切に掲げ続けます。



たのんだよ～

雨二モ負ケズ…全27チーム完走



よ～い! スタート

雨模様の大会となりましたが全チーム見事に完走しました。今年も、東京南部生協さんのご好意により、無料で豚汁を配っていただき、走り終わったランナーにも暖まってもらえました。ランナーの皆さん、当日の要員で協力いただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。最後は参加者・スタッフみんなが恒例の記念撮影をしてフェスティバル終了となりました。皆さん、来年もまた元気に会いましょう!

3月1日(日)、多摩川ガス橋下で第5回早春駅伝フェスティバルが開催されました。今年も27チームがエントリー。1チーム4人で1人2・5キロを走りタスキをつなぎます。毎年この時期は、天候が心配されます。前日はよいお天気でしたが、当日は雨の予報。12時には終了予定なので、それまで雨が降らなければ…。そして迎えた駅伝フェスティバル。第1走者のスタート時点では、どんよりとした曇り空。このままならランナーにとって走りやすい天気です。しかし、第1走者が折り返す頃に、冷たい雨がポツポツと落ちてきました。雨模様の大会となりましたが全チーム見事に完走しました。今年も、東京南部生協さんのご好意により、無料で豚汁を配っていただき、走り終わったランナーにも暖まってもらえました。ランナーの皆さん、当日の要員で協力いただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。最後は参加者・スタッフみんなが恒例の記念撮影をしてフェスティバル終了となりました。皆さん、来年もまた元気に会いましょう!



タスキでアピール



雨二モ負ケズ…がんばりました



豚汁で暖まりました



がんばってえ～

第5回早春駅伝フェスティバル結果

順位	タイム	チーム名	所属
1	39分29秒	ハードラン	みさと協立病院
2	41分58秒	ジェネレーション	健康文化会
3	42分08秒	優勝候補チーム	大田病院
4	44分31秒	すずらんチーム	城南保健生協
5	44分57秒	山王小A	山王小学校
6	45分51秒	山王小B	山王小学校
7	46分34秒	HOWEVER	大田病院リハビリ課
8	46分57秒	渋谷合同法律事務所	渋谷合同法律事務所
9	48分06秒	国土交通労組羽田空港支部	国土交通労組
10	48分34秒	アベベ	病体生理研究所
11	48分47秒	チームYUTAKA	ゆたか診療所
12	49分21秒	山本海苔店チーム	山本海苔店
13	49分33秒	大田病院チーム	大田病院
14	50分31秒	ソフトラン	みさと協立病院
15	51分39秒	城南専務チーム	城南3法人
16	51分52秒	アコンガア目指したい	病体生理研究所
17	52分25秒	なんぶA	東京南部法律事務所
18	52分33秒	チーム五反田	五反田法律事務所
19	53分36秒	なんぶC	東京南部法律事務所
20	53分48秒	なんぶB	東京南部法律事務所
21	54分14秒	赤い水性	城南医薬保健協働
22	54分55秒	南部生協チーム	東京南部生協
23	55分33秒	鳥貴族	大田歯科
24	56分38秒	東京民医連歯科9条の会	大田歯科
25	57分22秒	三ツ木診療所	三ツ木診療所
26	57分35秒	大森中診療所チーム	大森中診療所
27	66分19秒	橋口家&混成さくら	

腹八分

人間の生業を維持しているのは衣食住です。とりわけ食は直接生存に関わる大切なものです。人間でも昆虫でも、およそ生あるものは誕生のそのときから旺盛な食欲を示します。母胎の中で誕生を待っていた新生児が、いきなり母乳を求めるとは感動的であり、まさに「生」そのものです。いまテレビ番組では、食を扱ったものがあふれています。確かに食は人間の生存を維持するとともに、楽しみであり文化でもあります。匠の技はそれぞれの民族の誇りでもあります。しかし、テレビに映るごちそうは視聴者は味わうことができません。なんだか不思議な現象です。1億を超える民族の大多数が目くらましてもあっているようです。かつて日本は、昭和の30年代を迎える頃までは、食糧難の時代でした。とりわけ戦中・戦後は食料の絶対数が不足していました。「衣食足りて礼節を知る」こんな格言もありますが、とりわけ食は人間の矜持をも損ないかねません。恥を忍んでも生きねばならない世相であったのです。かつて日本が体験したアジア太平洋戦争で、日本の兵士のほとんどが戦闘よりも補給のない戦地に赴いての餓死であったことが最近の研究で明らかにされています。食は人間の生存を保障するとともに病気になる人にとって、欠くことのできない治療です。それなのに入院中の食事代が2倍にされようとしていきます。日本の戦争を推進した祖父を持ち、自身は連日マスコミ幹部と高級料亭に通い詰めている人物のプランです。